

区政会議におけるご意見への対応方針

※会議の中で出たご意見やご意見票等により会議外でいただいた運営方針に関する主なご意見について、適宜要約して記載しています。会議内での詳細な発言内容については、議事録・議事要旨にてご確認ください。

会議内で回答した発言の補足や訂正がある場合はその旨の注釈を記載しています。

なお、局所管事業等、区役所の所管外となるご意見については記載していませんが、いただいたご意見は所管部局へ伝達しています。

No.	意見聴取の場			委員意見	区の回答・対応方針	担当課
	開催日	会議名	委員名			
1	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議	西岡委員	【地域コミュニティの活性化について】 令和5年度運営方針（案）の経営課題3の主な戦略で、中間支援組織（まちづくりセンター等）との連携による地域特性に応じた支援とありますが、まちづくりセンターの担当者が短期間で交代されることが多々あり、一番短かったのが1年です。1年で地域特性が分かるのかと疑問に思います。どのようなタイミングで担当者が代わられるのでしょうか。	・まちづくりセンターは1年更新で契約の発注をしており、支援員は毎年まちづくりセンターで雇用契約がされているというのが現状です。そのため、区役所からは、「まちづくりセンターとしてこういう支援をしてほしい」という発注はしますが、人の交代について、この人がこの地域を何年見てというようなことについては、法律上、直接指示ができません。 ・より具体的にいうと、毎年公募により選定された事業者と区役所の間でまちづくりセンター業務を一体的に「業務委託契約」を交わしているものであり、まちづくりセンター支援員個人と区役所の間で雇用契約を交わしているものではありません。そのことから、支援員と区役所は労働基準法第9条に定めのある「労働者」という関係性に該当しないため、区役所から業務遂行上の直接的な指示ができません。 ・また、「1年ぐらいでその地域特性は分からない」というご意見についてですが、前任の支援員が蓄積した情報についてはまちづくりセンターできちんと確保し、それをつなげていくようになっています。 ・来年度は、地域への会計支援の継続性を確保する観点から、年度末ではなく精算終了後の5月末までの14か月に契約延長、令和6年度以降は複数年契約にむけて検討中です。 ※会議後に回答を補足しています	市民協働課・まちづくり担当
2	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議	西岡委員	【窓口サービスについて】 令和5年度運営方針（案）の経営課題4の、窓口サービスの向上で、例えば受け取る書類が住民票ならすぐ早かったり、違う書類なら結構待たされて損しているような、先に受付してるのに後回しにされているような感覚を受けてしまうことが経験上あるので、受付されてから書類をもらうまでの時間をもう少し分かりやすくしていただけないかと思えます。	区役所1階の窓口サービス課（住民登録担当）では、主に転入・転出や戸籍関係の手続き、各種証明書の発行、マイナンバーカードに関する手続きを行っております。ご意見にありますとおり、各種申請書をお預かりしてから手続きが終了するまでに要する時間につきましては、申請種別ごとに作業内容が異なるために前後することがあります。 各申請ごとの所要時間につきましては、混雑状況や相談・申請内容により作業に要する時間が変わるためにお知らせしておりますが、受付窓口、交付窓口の待ち人数及び呼び出し状況については、ホームページで確認いただけます。 今後、窓口の待ち時間の短縮や混雑の緩和を図るため、他区の実践を参考にしながら、お待ちいただく皆様の待ち時間について、更にわかりやすくお伝えできるような環境づくりについて引き続き検討してまいります。 ※会議後に回答を補足しています	総務課 窓口サービス課・住民登録担当

No.	意見聴取の場			委員意見	区の回答・対応方針	担当課
	開催日	会議名	委員名			
3	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議	西岡委員	【防災・減災対策について】 加島地域では、9月11日に地域防災学習会として、加島地域防災まち歩きで、危険な場所等がないかを確認しながら歩きました。災害時の一時避難場所の公園ですが、除草もされず草が生い茂っていて、地震の時に避難ができるのかというようなひどい状態でしたし、ふだんは子どもたちも遊ぶ場所です。少し前の年でしたらそういうこともなかったと思うのですが、年に2回ぐらいしか除草がされていない感じがします。住民の安全、住みやすさに直結するところですので、この辺に予算を足していただけないかと思います。	一時避難所となる都市公園については、建設局が管理していることから、1月開催の行政連絡調整会議(区役所と警察・消防・建設局等の区内各事業所で構成する、行政運営上の連絡調整を行うため定期的に開催している会議)にて同局に対し、一時避難所としての機能を保つために除草回数を増やしていただきたい旨、意見しました。 ※会議後に回答を補足しています	市民協働課・防災担当
4	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議	奥委員	【令和5年度運営方針（案）について】 運営方針のアウトカム指標の数値で、5年度、6年度という数値がありますが、現在の数値の記載はあるのでしょうか。 「安心して子育てができる環境であると感じる割合」が、7年度末までに40%以上と目標設定され、5年度35%、6年度37%であれば、4年度がどれぐらいかが分からないと判断がつきにくいと思います。	・令和4年度の区民アンケートの結果34%をもとに、右肩上がりに上げていきたいと考えて、この数値に設定をしています。 ・出発点が分からないという部分について、修正をしていきたいと思います。 ※会議後に回答を補足しています	保健福祉課・子育て支援担当 政策企画課
5	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議	杉本委員	【新大阪駅周辺地域のまちづくりについて】 新幹線ができてから半世紀、新大阪の利便性はよくなっています。新幹線ができてから起こったことは、人が東京に集中して大阪からの出口になり人が集まってきません。スーパー・メガリージョンという話は、ありえない話です。北陸やリニアができて、ますます人が大阪から東京に出ていき、大阪は出張先ではなく日帰りの都市になっていくと思います。現実をよく踏まえてもう一度構想を練ってほしい。 もう一点、大阪市全体を考えるのであれば、大阪の大動脈である新御堂筋の利用を考えないのでしょうか。南に行けば梅田という大都市圏があります。梅田と新大阪と結んで、梅田から新大阪へバスを走らせる等をすれば、新大阪に人が集まってくるのではないのでしょうか。淀川区という狭い範囲で考えるのではなく、新御堂筋という北南を結んだ大阪都市圏というものが考えられるのではないのでしょうか。計画を見直していただきたいです。	スーパー・メガリージョンについて、意見いただいた指摘があることは認識しています。国で打ち出された構想を前提に、新大阪周辺をよくしていきたいというのが我々の思いで、東京に人が持っていかなないように考えないといけないと思っています。新大阪を拠点化していく、周辺をよくしていくということを、リニア・北陸新幹線がくることをきっかけに変えていくということを打ち出させていただきました。 新御堂筋についても活用していくべきと考えていますし、梅田との連携も考えていきたいと思っています。 淀川左岸線ができると新御堂筋からの高速道路へのアクセスがよくなります。まちづくり方針は、そういうことも含めて打ち出させていただいたものです。 また、今回2022版としたのは、現時点でとりまとめられる内容をまとめたもので、今後更新を考えています。今後の動きや区政会議での意見も踏まえて考えていきたいと思っています。	政策企画課 大阪都市計画局拠点開発室 計画調整局都市計画課

No.	意見聴取の場			委員意見	区の回答・対応方針	担当課
	開催日	会議名	委員名			
6	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議	森委員	【新大阪駅周辺地域のまちづくりについて】 何十年も前から新大阪駅はよく利用していたが、南側、北側とも一つも変わっていません。東京駅、博多駅は後から開発されているにもかかわらず、圧倒的に、十年以上の差がつけられています。 南側が開発できないのは宮原操車場の引き込み線があるからで、廃止してください。宮原操車場もリニアの駅にすると駅周辺を民間で考えていただければいいと思いますが、操車場はあそこの場所でもいいのではないのでしょうか。早急に引き込み線を撤去すると新大阪のイメージが変わるかと思います。 もう一つは、新大阪駅から近い場所に、柴島浄水場があり、広大な面積があります。淀川区ではなく東淀川区だが、淡路まで含めた総合的な判断として、浄水場があ場所になくてもいいと思っています。東京の新宿は元浄水場でそこがどんどん開発されました。浄水場の場所はビジネス街にさせていただいて高層ビルを集中させたらどうでしょうか。	宮原操車場への引き込み線は、ＪＲからは梅田の車両のやりとり等も踏まえると現時点では必要ということ聞いています。将来的にどうするかは今後の状況を踏まえて検討していきます。 柴島浄水場は、水道局で、ダウンサイジングという、規模を縮小して土地を活用していく方針です。移転のための作業等があり、2034年くらいの予定です。 新大阪駅周辺にはさまざまな動きがあります。全体としてうまく進められるように調整していきたいと思っています。	政策企画課 大阪都市計画局拠点開発室 計画調整局都市計画課
7	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議	永野委員	【新大阪駅周辺地域のまちづくりについて】 資料３に「世界有数の～」と書いてありますが、「日本有数の」であればまだしも「世界有数の」というのは言い過ぎではないでしょうか。また、「歩きたくなるまち」とも書いてありますが、大阪には歩きたくなるまちはほとんどありません。税金を投入する対象としてどうなのかと思います。 人口、税収を確保してまちを維持していくことは大事ですが、大阪のコロナの死者が第１位であり公衆衛生は大丈夫なのか、病院の体制はどうか、大阪の水道管もボロボロですが予算も限られています。この地域で住んでいる人間としては、安心して暮らせるようにしてほしいです。	都市計画だけでなく、防災、地域の福祉の問題等、それぞれあることは認識しています。引き続きご意見をいただきながら、しっかり取り組んでいきたいと思っています。 なお、「世界有数の～」は、新大阪の将来のまちづくりを検討するために官民で設置した検討協議会にて、めざすべき方向性として、新大阪の圧倒的な広域交通アクセスの良さを活かし、「世界有数の広域交通ターミナルのまちづくり」を実現していくことを打ち出したもので、目標として淀川区を世界に冠たる地域にしていきたいという趣旨であり、ご理解いただきたいと思います。 また、駅とまちが一体となった居心地のよい歩きたくなるまちなかの空間の形成をめざしており、淀川区には淀川河川敷という自然に恵まれた場所もあります。自然を活かした歩きたくなる都市空間、まちをめざしていきたいと思っています。 ※会議後に回答を補足しています	政策企画課 大阪都市計画局拠点開発室 計画調整局都市計画課

No.	意見聴取の場			委員意見	区の回答・対応方針	担当課
	開催日	会議名	委員名			
8	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議 (事後意見)	奥委員	【新大阪駅周辺地域のまちづくりについて】 大阪市－大阪府－内閣府へと広がる開発プロジェクトとのことですが地域として理解し協力していくためにも早期からの情報共有を図っていただきたいところです。 意見といたしまして、一番心配しますのは阪急京都線の地中または高架化です。淡路駅の高架化をみますと工事完了までに相当な遅れがでた模様です。 宮原操車場から伸びるJRと阪急の地上部分における現状は今後問題になることは十分想定されていると思いますが、再開発についての地元の理解が進んでいるのか心配です。 住民としては踏切が無くなれば渋滞や事故、騒音がなくなり、また交通面でも便利になることで再開発には大賛成ですが、事業者や地価の影響を受ける方が抵抗されることも予想されます。 リニア新幹線も新大阪接続を見込まれているようですし、メトロなにわ筋線延伸、新大阪連絡線構想に纏わる立退きや利害調整について早期より説明会などの積み上げを切にお願いしたいと思います。 また、新大阪駅周辺の魅力向上について梅田エリアへの通過点に過ぎないという意見がありましたが、東京は品川がリニア新幹線の拠点として開発されることと同様な着眼点で新大阪を位置づけると良いと感じました。	いただいたご意見については、多岐にわたりますので、まずは貴重なご意見として、淀川区役所政策企画課で受け取らせていただき、今後引き続き、区政会議等の場を活用しながら、適宜情報提供をさせていただきたいと考えております。	政策企画課
9	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議 (事後意見)	西岡委員	【地域活動の担い手育成について】 (資料2) 区政会議におけるご意見への対応方針のNo.6について、区の回答・対応方針の8行目「今まで地域活動に関わりの薄かった企業や学校の方々が地域活動に参画できるような取組みをまちづくりセンターと連携して推進しており、地域のイベントや防災訓練等へ参加している事例も増えています。」とありますが、実際どれくらい増えたのですか？具体的にお示し下さい。 加島地域のイベントなどは主に週末の土日に開催することが多く、協力していただいている企業様の参加はほとんどありません。また、どのように参加を依頼されていますか？声かけなどはしていますが・・・。	・令和3年度中の新たな連携事例は17件でした。 昨年は、食品会社からの防災訓練啓発物品の提供、ものづくり企業での小学生の工場見学受け入れ、銀行による小学生向け防災イベント、大学生の防災訓練参加など、コロナ禍で大規模イベントが開催できない中でも企業や学校の方々の地域活動参画事例が増加しました。 ・また、加島地域における具体的な連携事例としては、大阪シティ信用金庫加島支店での地域広報コーナー設置、コープこうべによる移動販売、社会福祉法人による福祉避難所協力、レンタルバスケットコート事業者との包括連携協定等があります。 ・近年、企業や学校の方々は地域貢献に非常に高い関心を持っておられることから、区役所やまちづくりセンターに相談に来られて実際の連携につながっていくといったケースが増加しています。また、地域の方々から「この企業や学校と一緒にこういうことがしたい」というご要望を受けて、区役所やまちづくりセンターから連絡を取る事例もあります。 ・今後も、企業や学校、NPO等多様な主体との連携・協働した地域活動を展開できるよう、まちづくりセンターとともに支援してまいります。	市民協働課・まちづくり担当

No.	意見聴取の場			委員意見	区の回答・対応方針	担当課
	開催日	会議名	委員名			
10	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議 (事後意見)	西岡委員	【災害時避難所の案内表示について】 (資料2) 区政会議におけるご意見への対応方針のNo.7について、区の回答・対応方針に「広報板や電信柱に掲示している災害時避難所案内に記載の矢印方向につきましては、あらためて現場確認するとともに、矢印表示であるとかえって混乱しそうな箇所につきましては、案内表示を検討させていただきます。」とありますが、どのように検討されているのですか？ 矢印は相変わらずあさっての方向を指しているものがあります。 災害はいつ発生するかもわかりません。住民の安心・安全な暮らしに直結するもので、早急に対応すべき事案だと思います。	・まず、広報板に掲示の案内表示については、災害時避難所の方向のみを示しており、矢印表示があるとかえって混乱しそうな箇所につきましては、矢印表示から方角と距離の表示に変更しました。 ・また、電信柱に掲示の案内表示については、細い道を進んで災害時避難所に向かうのはリスクがあることから、狭い場所の電信柱に掲示の案内表示については、まずは大きな道路へ出ることを誘導するような矢印表示にしているケースがあり、そのため、災害時避難所とは違う方向（大きな道路に出るための方向）を指しているものもあります。 ・電信柱に掲示している矢印表示を辿りながら、より安全に災害時避難所に到達できるようにするために、今後、矢印方向の修正や電信柱への案内表示の追加設置を検討します。	市民協働課・防災担当
11	R4.11.21	令和4年度第2回全体会議 (事後意見)	永野委員	【区政会議委員について】 西淀川区には大学生の区政会議委員が二人いるそうです。若い委員を増やすべく、区の担当者がボランティア活動をしている大学生に声をかけたと聞きました。 西淀川区は長い住民運動の歴史を持つところですが、淀川区でも可能なはずです。将来の街に生きる世代に、全身全霊のラブコールを期待しています。	貴重なご意見ありがとうございます。 委員ご指摘のとおり、若年層の区政会議への参画はとても意義があると考えますので、次の区政会議委員を公募する際には、区内の大学や専門学校にも声がけを行っていくことを検討し、公募委員のさらなる増員をめざしていきたいと考えています。	政策企画課